

にしっこ 西っ子のみなさんへ 133 1月27日

今日、1月27日は「国旗制定記念日」です。

1870年の旧暦もこの日（新暦では2月27日）、明治政府が「日の丸」を国旗とする太政官布告の商船規則により、国旗のデザインと規格を示しました。

これを記念し、国を象徴する国旗の正しい理解と普及を目的に、一般社団法人・国旗協会が記念日としました。

「日の丸」は、江戸時代末期、徳川幕府が船舶用の国籍標識「日本総船印」として決めました。その後、船舶以外でも日本の国籍を示す旗として広がっていきました。



その当時の規格は、縦横の比率が7：10で、日の丸が旗の中心から旗ざお側に横の長さの100分の1ずれた位置とされていました。

しかし、1999年8月9日に「国旗及び国歌に関する法律」が成立し、正式に「日の丸（日章旗）」が国旗に、「君が代」が国歌となりました。

この法律では、国旗の縦横の比率が2：3となり、日の丸の直径は縦の長さの5分の3で、日の丸は旗の中心に位置することになりました。しかし、旧の規格もしばらくは使ってよいことになっています。

色地は白色、日の丸は赤ではなく法律では「紅色」とされています。

この白地赤丸のデザインは、随分前から使われているようですが、正確にはいつから使われているのか不明のようです。一説によると平家が「赤地に金丸」、源氏が「白地に赤丸」の旗を使用しており、源氏が勝った後、白地に赤丸の旗が天下統一を成し遂げた者の象徴として受け継がれていったことで、現在に至っているのではないかと考えられています。

「日の丸」は、朝日を描いているといわれますが、英語ではそのまま訳されたのか「The Rising Sun Flag」といわれます。

このデザイン、美しく洗練されているので、明治時代にはイギリスやフランス、オランダなどから、正式に譲ってほしいという依頼があったそうですから驚きです。実はけっこう人気のあるデザインなのですね。

赤は「博愛」と「活力」、白は「神聖」と「純潔」を意味しています。